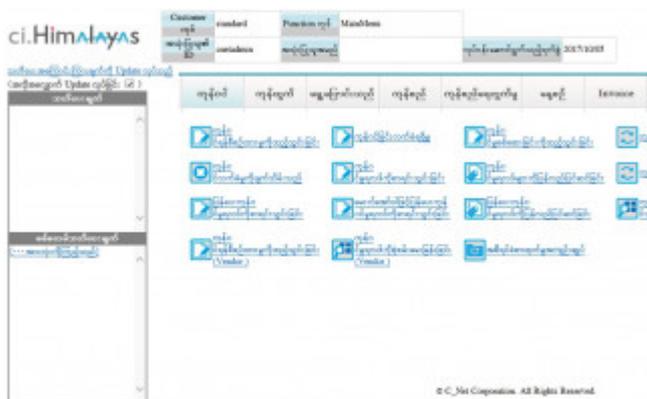


シーネット、海外サービス拠点を拡充 ミャンマーとインドネシアでサポート提供を開始



ci.Himalayas（シーアイ・ヒマラヤ）のブランドでクラウド型倉庫管理システム（以下WMS）の提供を行う株式会社シーネット（以下シーネット、本社：千葉県船橋市、代表取締役CEO：小野崎伸彦）は、ミャンマー及びインドネシアにおける日系・現地企業向け物流ソリューションのサポート強化を目的に、[2017年10月12日](#)

より現地サポートセンターを両国に開設、同時にフィールドエンジニアリングサービスの提供を開始しました。

これまでシーネットでは、ASEAN各国の企業の物流をタイ・バンコクの現地法人シーネットタイランドよりサポートしてきましたが、近年安定した経済成長を続けるミャンマー、インドネシアの企業からのサポート要請が継続的に増加したため、現地拠点を開設しました。両サポートセンターの開設とフィールドエンジニアリングサービスの提供によって、現地語での問い合わせ対応や、トラブル発生時のオンサイトサポートなどが実現、これまで以上に安心して現地でのシステム稼働ができるサポート体制を確立しました。

ミャンマー、インドネシアの2つのサポートセンターの開設により、シーネットの海外サポートセンターは上海、北京、バンコクと合わせ計5拠点となりました。これからも、多言語版在庫管理システム「ci.Himalayas/GLOBAL」をはじめとした物流ソリューションの提供を通じて、日系企業の海外物流の利便性向上、ならびに現地企業の物流品質の進化を強力にサポートしていきます。

【ミャンマー】 拠点名： シーネット ミャンマーサポートセンター

設立： [2017年10月](#)

連携企業： Vision Links Myanmar Co.,Ltd

（ヴィジョン リンクス ミャンマー）

事業内容： システムインテグレーション、ICTコンサルティング

【インドネシア】 拠点名： シーネット インドネシアサポートセンター

設立： [2017年10月](#)

連携企業： PT.Netmarks Indonesia（ネットマークス）

事業内容： ネットワークシステムの設計・販売・施工・運用管理

◆ミャンマー語・インドネシア語システム画面表示

ならびにシーネット アジアサポートセンターの体制について◆

【株式会社シーネットについて】

1992年の創業以来、物流一筋にシステム化による業務効率化と品質向上に取り組んできた、倉庫管理システムのパイオニアです。自社開発、自社マーケティングの効率的な体制により、多様な業界・業種・業態の物流現場が抱える課題に常に最適解を提示、2011年から6年連続でWMSパッケージ出荷金額No. 1*を達成しています。

現在は、充実した標準機能をもつWMSをクラウドで提供することによりSCMの【見える化＝KPI管理】をサポート、また、音声認識や画像認識などの最先端技術を応用した【効率化＝人手不足対策】のための各種ソリューションの提供を通じ、物流の側面からクライアント各社の経営課題の解決を支援しています。

*株式会社ミック経済研究所 『クラウド&グローバルが牽引する基幹業務パッケージソフトの市場展望』

会社名： 株式会社シーネット

設立： [1992年1月](#)

代表者： 代表取締役CEO 小野崎 伸彦

URL： <http://www.cross-docking.com>

事業内容： 物流システム研究開発・販売、
物流システムクラウドサービスの提供

以上